

**建築基準法第12条第5項に基づく（工事監理・工事状況）報告書**  
鉄骨造・鉄骨鉄筋コンクリート造（第2回特定工程：2階床配筋等終了時）

平成 年 月 日

建築主事 様

建築確認済証番号	平成 年 月 日 第 号
建築主氏名	
建築場所	

上記、工事中の建築物の（工事監理・工事状況）に係る結果を次のとおり報告します。

報告者 工事監理者	住所
	氏名 <span style="float:right">㊟</span>

設計図書と照合した結果、変更は、  ありません。  
 ありますので、別添のとおり報告書を添付します。

確認項目	内 容	工事監理者用		検査員用		摘 要		
		検査結果	指摘番号	検査方法	結 果			
報告書審査による確認事項	指定建築材料の品質確認	a	鋼材、高力ボルトセットの規格・品質の確認		C	適・否		
		b	溶接材料の規格と鋼材組合せの適否		C	適・否		
	組立検査	c	開先角度、ルート面、ルートギャップ、食い違い等組立時の鉄骨精度		C	適・否		
		d	高力ボルトの接合部の摩擦接合面の処理、ボルト孔の径・ピッチ		C	適・否		
		e	外観検査及び超音波探傷検査結果		C	適・否		
現場検査事項	全体	A	鋼材等の品質規格証明書と現物との照合		A C	適・否		
		b	溶接材料の規格と鋼材の組合せ適否		A C	適・否		
		c	柱・はり・ブレース・床版等の配置		A C	適・否		
	柱脚部	共通	D	柱・はり・ブレース・床版等の寸法・形状		A C	適・否	
			A	柱脚部接合方法と仕様確認		A C	適・否	
		露出形式	B	アンカーボルトの材質・径・本数とナットかかり高さ		A B C	適・否	
	C		座金の使用、ナットの戻り止め措置（ナット戻り止めは、二重ナット、ナット溶接）		A C	適・否		
	D		アンカーボルトの定着長さ		A B C	適・否		
	E		ベースプレート厚さ、アンカーボルトの孔径、縁端距離		A B C	適・否		
	根巻き形式	F	根巻き部分の高さ		A B C	適・否		
		G	根巻き部分の立上り主筋本数、主筋頂部のかぎ状加工、立上り主筋の基礎及び根巻き部分の定着長さ		A B C	適・否		
		H	根巻き部分の帯筋の径、配置、フック形状、結束		A B C	適・否		
		I	スタッドの径・長さ・本数・配置		A B C	適・否		
	埋込み形式	j	柱の埋込み長さ		A B C	適・否		
		k	側柱・隅柱のU字形鉄筋による補強		A B C	適・否		
l		鉄骨かぶり厚さ		A B C	適・否			
m		スタッドの径、長さ、本数、配置		A B C	適・否			
現場検査事項	工場加工溶接部分の外観・形状・寸法（柱・大梁・大梁接合部等）	a	溶接継目の種類（突合せ溶接・すみ肉溶接）		A C	適・否		
		b	ダイヤフラムとフランジのずれ		A C	適・否		
		c	突合せ継手の食い違い		A C	適・否		
		D	アンダーカット		A C	適・否		
		E	溶接割れ		A C	適・否		
		F	その他の溶接部の外観・形状・寸法（スラグ、スパッターの除去等）		A C	適・否		
	現場溶接部分組立精度	G	開先角度、ルート面、ルートギャップ、食い違い等組立時の鉄骨精度		A C	適・否		

現場検査事項	溶接接合部	現場溶接部分の製品検査	h	外観検査及び超音波探傷検査結果		A	C	適・否	
		現場溶接部分の外観・形状・寸法	i	現場溶接の部位（設計図書との照合）		A	C	適・否	
			J	溶接継目の種類（突合せ溶接・すみ肉溶接）		A	C	適・否	
			K	ダイヤフラムとフランジのずれ		A	C	適・否	
			L	突合せ継手の食い違い		A	C	適・否	
			M	アンダーカット		A	C	適・否	
			N	溶接割れ		A	C	適・否	
			o	その他の溶接部の外観・形状・寸法（スラグ、スパッターの除去等）		A	C	適・否	
	高力ボルト接合部	トルシア形ボルト	A	現場受入検査（導入張力確認試験）実施状況確認			C	適・否	
			B	HTBの径・本数・スプライス数・ピッチ・縁端距離・孔径の確認		A	C	適・否	
			C	摩擦接合部の摩擦面の状態			C	適・否	
			D	締付け状態の確認（肌すき、ピンテール破断、マーキングの状態）		A	C	適・否	
		JIS形六角ボルト	E	JIS六角ボルト締付機器の調整、現場受入検査（導入張力確認試験）実施状況の確認				C	適・否
			F	HTBの径・本数・スプライス数・ピッチ・縁端距離・孔径の確認		A	C	適・否	
			G	摩擦接合部の摩擦面の状態			C	適・否	
			H	締付状態確認（肌すき、マーキングの状態）		A	C	適・否	
	ブレース接合部	A	ブレース形状、寸法、位置		A	C	適・否		
		B	ブレース仕口接合部形式、板厚等設計図書との照合		A	B	C	適・否	
	2階床	A	デッキプレート合成床版の場合 デッキプレート厚、はりとの溶接		A	C	適・否		
		b	スタッド合成床版の場合 スタッド径、長さ、ピッチ		A	B	C	適・否	
		c	スラブ厚寸法、鉄筋ピッチと径		A	C	適・否		
d		主筋配置（短辺・長辺）と支持条件		A	C	適・否			
e		定着長さと定着位置		A	B	C	適・否		
f		継手の位置・長さ		A	B	C	適・否		
g		開口部補強筋		A	C	適・否			

※ 検査方法 A 目視検査、B 計測検査、C 工事監理者報告  
 ※ 太線枠内には記入しないでください。

■工事監理者指摘項目等の記録

指摘番号	内容及び結果

※ この報告書は、鉄骨部分の確認項目を中心に作成しています。必要に応じてRC造の報告書も記載し添付して下さい。

事務処理欄

受付日	平成 年 月 日	指示書発送日	平成 年 月 日
検査日	平成 年 月 日	合格日	平成 年 月 日